

2024年2月2日

炭素会計プラットフォームの活用によるファイナンスド・エミッションの 算定高度化への取り組みを開始することについて

めぶきフィナンシャルグループ（取締役社長 秋野 哲也）は、株式会社三井住友銀行（頭取CEO 福留 朗裕、以下「SMB C」という）および日本アイ・ビー・エム株式会社（代表取締役社長 山口 明夫、以下「日本IBM」という）の支援のもと、企業・金融機関・政府機関向け気候管理・炭素会計プラットフォーム（CMA P）を提供するパーセフォニ（本社：米国アリゾナ州テンピ）の温室効果ガス（GHG）排出量算定プラットフォームを活用し、ファイナンスド・エミッション^{※1}の算定高度化への取り組みを開始しますので、下記のとおりお知らせいたします。

※1 投融資にかかるGHG排出量。投資や融資を実施した組織の側が、投融資先のGHG排出に寄与したとして、投融資額の割合に応じて、その一部を間接的に排出したとみなされるもの。

記

1. 本取り組みの背景・目的

気候変動問題への社会的関心が高まる中、企業には自社だけでなく、サプライチェーンの上流・下流を含めたGHG排出量の把握と脱炭素化に向けた取り組みが求められています。特に、東京証券取引所のプライム市場上場企業においては、気候変動を含むサステナビリティ情報の開示が義務化されており、株式市場や投資家、規制当局等からの要請に対応していく必要があります。一方、金融機関においては、投融資先の脱炭素の推進を支援するため、ファイナンスド・エミッションを算定・分析するとともに、エンゲージメントと呼ばれる働きかけを積極的に行っていくことが期待されております。

このような状況を踏まえ、当社グループはパーセフォニが提供する、国際的な排出量算定基準であるGHGプロトコルやPCAF^{※2}に厳密に準拠する炭素会計システムを活用することでファイナンスド・エミッションの算定高度化への取り組みを開始することといたしました。

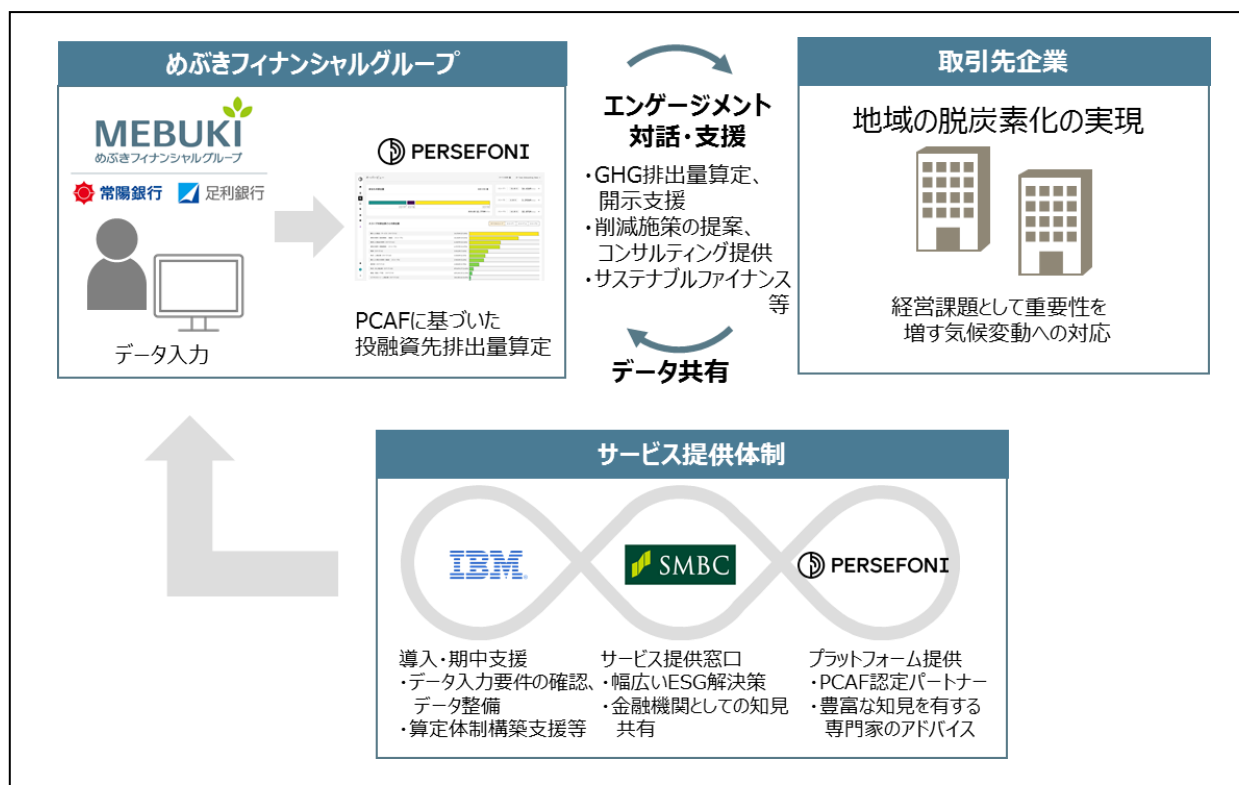
これにより、複雑な算定作業の効率化をはかるとともに、透明性の高い算定結果の開示、分析、管理に組み込み、投融資先の脱炭素化支援を強化することで持続可能な地域社会の実現に努めてまいります。

※2 金融向け炭素会計パートナーシップ（Partnership for Carbon Accounting Financials）。ファイナンスド・エミッションを総合的に算定するための枠組。TCFDはファイナンスド・エミッションの算定手法としてPCAFを推奨している。

2. 本取り組みの概要

パーセフォニが提供する炭素会計プラットフォームには、ファイナンスド・エミッションの算定に必要な情報である排出係数や算定式、投融資先企業が開示しているGHG排出量データ等が内包されており、当社グループは投融資関連活動データの入力によりPCAFに準拠した透明性の高い算定が可能となります。

《取り組みイメージ図》



以上

【ご参考】

1. SMBCについて

SMBCは、三井住友フィナンシャルグループ傘下の都市銀行です。SMBCを含む三井住友フィナンシャルグループは自身が排出するGHGを2030年までにネットゼロとすることに加え、2050年までに投融資ポートフォリオ全体のGHG排出量をネットゼロとすることにコミットし、脱炭素社会への移行と実現に向けて取り組んでいます。（詳細は、<https://www.smbc.co.jp>を参照）

2. 日本IBMについて

日本IBMは、世界175カ国以上でビジネスを展開するIBMコーポレーションの日本法人で、基礎研究をはじめ、ビジネス・コンサルティングから、ITシステムの構築、保守まで一貫したサービスの提供を通じて、お客さまの企業変革やデジタル・トランスフォーメーションを支援しています。（詳細は、<https://www.ibm.com/jp-ja/>を参照）

3. パーセフォニについて

パーセフォニは、気候変動管理・炭素会計プラットフォーム（CMAP）のリーディングカンパニーです。企業や金融機関は、国際的な炭素会計基準であるPCAFやGHGプロトコルに対応する同社のSaaS型ソリューションを利用することにより、国内外のステークホルダーや規制当局が求める気候変動に関する情報開示業務を、高い信頼性、透明性、利便性をもって行うことができます。パーセフォニのプラットフォームは、「炭素分野のERP（経営資源を統合的に管理し、経営の効率化を図る手法）」であり、スコープ1から3までの（自社や国内外のサプライチェーン全体での）炭素管理の一元化を実現し、企業は従来の経理業務と同様の厳密さと信頼性をもって、炭素会計・管理業務を進めることができます。（詳細は、<https://www.persefoni.com/ja/>を参照）

以 上